

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立武田の杜保健休養林	所管課	県有林課
所在地	甲府市羽黒町片山1748ほか	設置年月日	平成54年3月14日
管理方式	指定管理者(財団法人山梨県林業公社、平成21年4月1日～)		
設置根拠	山梨県武田の杜保健休養林設置及び管理条例		
設置目的	県民が自然に親しみながら保健休養を図り、併せて森林・林業の役割についての啓発や鳥獣・植物についての知識を習得する場を提供するため設置した。		
主な施設内容	面積:2,500ha 主な施設:健康の森(195ha) 管理事務所、森林学習展示館、展望休憩室、キャンプ場 遊歩道、癒しの小径、林間広場、野鳥観察小屋、四阿、展望台、自由広場岩石園 水飲み場、手洗い場、トイレ、駐車場 樹木見本園(6ha) 樹木、遊歩道、四阿、休憩舎、水飲場、トイレ 幹線遊歩道(23.6ha) 休憩舎、水飲場、トイレ 鳥獣センター(1ha) 第1展示館、第2展示館、野鳥園		
主な業務内容	○キャンプ場利用の承認に関する業務 ○施設等の維持保全に関する業務 ○森林に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務 ○鳥獣に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務 ○自然に関する知識の習得に資するレクリエーション及び野外活動の機会提供に関する業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・利用状況等	○山梨県立県民の森保健休養施設:利用者数56,305人審査
---------------	-------------------------------

3. 利用状況

単位:人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
利用者数	利用者数合計	80,040	82,527	81,000	
	目標値		82,000	84,000	86,000
	目標値設定の考え方		H21～25年の指定管理者提案内容(H19実績値の8%増)	H21～25年の指定管理者提案内容(H19実績値の11%増)	H21～25年の指定管理者提案内容(H19実績値の13%増)
	対19年度比	105.5%	108.8%	106.8%	113.3%
	稼働率(ログキャビン)	31.0%	46.0%	43.0%	46.0%

4. 収支状況

単位：円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料	583,430	440,000	545,780	490,000
	指定管理者委託料	43,027,000	43,144,000	43,144,000	43,821,000
	その他	479,584	345,000	1,054,861	361,000
	収入合計(A)	44,090,014	43,929,000	44,744,641	44,672,000
支出	人件費	27,175,531	28,841,000	29,492,402	28,533,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	16,371,770	15,088,000	14,902,380	16,139,000
	(うち外部委託費)(B)	3,088,055	2,925,000	3,068,572	2,805,000
	支出合計(C)	43,547,301	43,929,000	44,394,782	44,672,000
収支差額(A-C)		542,713	0	349,859	0
外部委託比率(B÷C)		7.1%	6.7%	6.9%	6.3%
利用者一人当りの経費		521	526	533	510

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成21年4月～22年3月、実施方法：来園者、イベント参加者へのアンケート、回答数：270人
-------	---

単位：%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用日、利用時間	58.6%	40.0%	1.4%	0.0%
②利用料金	72.3%	24.1%	3.6%	0.0%
③申し込み方法	56.2%	42.0%	1.9%	0.0%
④設備・備品の状況	63.5%	35.1%	1.5%	0.0%
⑤催物・事業内容	76.8%	23.2%	0.0%	0.0%
⑥職員の接客態度	82.2%	17.4%	0.4%	0.0%
各項目の平均	68.3%	30.3%	1.5%	0.0%

利用者の意見	・シャワーが一箇所故障していた ・公園の場所について分かりやすい情報が欲しい。
利用者の意見への対応	・故障内容を確認した後、速やかに修繕を行った。 ・ホームページに分かりやすい地図を掲載した。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	計画書通り、実施することが出来た。	業務仕様書、業務計画書に基づき、適正に実施されている。
運営業務	計画書通り、実施することが出来た。	計画書のとおり、実施されているが、主催事業参加者数が目標値を下回っている。 桜祭りや紅葉時期のライトアップと開園時間の延長は定着しつつある。
自主事業	計画書通り、実施することが出来た。	計画書のとおり、実施されている。 キャンプ場利用者への薪炭等の販売や冷蔵庫の設置は好評である。
利用状況	目標を達成できなかったため、利用者の確保に努めて参ります。	公園利用者、主催事業参加者確保のため、広報の強化やプログラム内容の検討を行うこと。
収支状況	支出経費を精査し、経費縮減に努めた。	経費縮減と事業収入の確保に努めていることは評価できる。 修繕費については、施設の老朽化を踏まえ積極的なメンテナンスを進めること。
利用者満足度	利用者への丁寧な対応を心がけた。	利用者からの意見に対して、適切な対応を行っている。
運営目標の達成状況	運営目標指標 ○H22 利用者数 目標値 84,000人 → 実績値 81,000人 ○H22 主催事業参加者数 目標値 392人 → 実績値 301人 夏の猛暑などが影響し、利用者数、主催事業参加者数ともに、目標値を下回った。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	指定管理業務は適正に履行されている。 開園時間の延長、トレイルランや地元温泉等と連係したイベントなども好評だが、利用者が減少しているため、利用者ニーズを把握し、広報の充実やプログラム内容の検討を行うこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	地元マスメディアへの情報提供を積極的に行っていく。 要望が多いトレッキングや温泉地とタイアップしたイベントの開催回数を増やした。 公園周辺の施設などに出向き、利用の呼びかけや要望の聞き取りを行っていく。	

7. 管理体制(組織図)

